

議会だより

あしや

- P 2 **9月定例会**
令和2年度決算（事業を紹介）
- P 10 **町政を問う（一般質問）**
5人の議員が質問
- P 15 **追跡レポート**
学校ICT化はどこまで進んだ？

未来

につなぐ

No.211

令和3年
9月定例会

9月28日に無観客で行われた芦屋中学校体育祭。
生徒や校長先生へのインタビューを16ページに掲載しています。

令和3年11月25日発行
福岡県芦屋町議会

9月定例会

第3回定例会が、令和3年9月2日から14日までの13日間の会期で開催されました。3日に行われた一般質問では、5人の議員が登壇しました。決算、補正予算、意見書など17議案が上程され、15議案が可決されました。

評価

小中学校にタブレットを購入

(町内全小中学校で1人1台タブレット)

3271万円



問

コロナ禍で、リモート学習に活用する考えはあるのか。

議員の評価

答

家庭でのオンライン学習も想定しており、すでに山鹿小学校ではオンライン授業を試している。

学力向上や安全な授業環境確保の手段として評価します。

今後に期待

地域情報伝達システム 導入

(戸別受信機を全世帯に配布)

1億円



役場から発信



文字でも表示 (過去10件分記録可能)

役場からのお知らせを放送 (録音機能あり)

コンセントにつなぐだけ

役場から全世帯に情報が届くシステムがスタートとなり住民生活の安全・安心の向上に期待しています。

問

住民への周知はどうするのか。

議員の評価

答

今後、各自治区2人(区長+1人)を対象に講習会を行い、使用方法の周知を図っていきたい。

住民に正確な情報を伝達する手段として今後に期待します。

評価

中学校グラウンド整備

9002万円



議員の評価

グラウンドの活用頻度が増え、体力向上に期待します。

P.16の町かどインタビューに生徒や校長先生の感想を掲載しています。



評価

重要文化財 芦屋霞地真形釜 購入

2億7500万円



議員の評価

600年の時を経て里帰り、故郷の期待と経済効果は計り知れません。

令和2年度決算

予算の使い道は評価できる？

～コロナ対策で住民の生活を充実～

一般会計 **105億7545万円**

前年度比 **22億5232万円 増** ↑

ポートレース場からも**7億円**を繰り入れており、住民への手厚いコロナ対策支援などが評価され、賛成多数で認定されました。(1万円未満は切り捨てて紹介)

評価

コロナ対策支援

国の支援策や町独自の支援策など、住民への手厚い支援を評価します。(一部を掲載)

町 **子どもたちへ花火配布**
355万円

町 **各世帯にお米券配布**
1094万円

町 **子育て世帯に臨時特別給付金支給**
1763万円

町 **高齢者へ生活応援給付金支給**
(商品券1万円分)
4498万円

町 **大学生などへ生活応援給付金支給**
3160万円

町 **事業継続支援給付金支給**
(農業・漁業者含む) 6140万円

その他の支援策	総額
国 特別定額給付金 (1人あたり10万円支給)	13億5550万円
町 緊急生活支援給付金 (1人あたり2万円支給)	2億7078万円
町 電気料金支援給付金 (1世帯あたり1万円支給)	5899万円
町 家庭用ごみ袋配布 (家庭用ごみ袋引換券配布)	1634万円
町 上下水道料金支援給付金 (1世帯あたり1万5000円支給)	9109万円

国：国の支援策 町：町独自の支援策

決算ここは

どうなっている？

気になる事業を 質疑



アッシーの
議会豆知識



・**質疑**とは
議会で審議する案件を本会議や委員会ですること。

・**討論**とは
自分の考えに反対する議員や賛否を決めかねている議員に対し、賛同してもらうために意見を表明すること。

◆コロナ禍で

消費生活相談が増加

問 どのような人が対応しているのか。

答 専門職の消費生活相談員が対応している。

問 コロナの影響もあり相談が増加しているが、相談体制に問題はないのか。

答 平日は毎日相談窓口を開設しているため問題はない。



消費者生活相談の様子

◆コロナ禍でブランド金賞

ウェブ中心に商品PR

問 金賞は芦屋釜饅頭に決定したが、その効果はあったのか。

答 コロナ禍で予定していた商品PRや販路拡大はあまりできなかったが、ホームページでの周知やふるさと納税との連携などは行った。今年度も引き続き、ブランド認定を行い、認定商品を増やしていきたい。



金賞を受賞した「芦屋釜饅頭」

◆高齢者による

交通事故減少へ

問 高齢者運転免許証返納者支援事業の利用者数は。

答 133人が利用した。

問 この事業での効果は。

答 令和元年の町内の交通事故は41件あったが、令和2年は15件、高齢者が関わる事故も23件から7件に減少している。

◆老人憩の家委託料減

(緊急事態宣言により107日間
休館し、指定管理料を減額)

問 コロナで大幅に利用者が減少しているが、それ以前から減少傾向にあった。昨年憩の家の基本構想を策定したが、その後は。

答 コロナで社会情勢も変化しているため、再度ニーズ調査を行う予定にしている。

◆高齢者のインフルエンザ

予防接種率向上

問 インフルエンザの予防接種を無料にした効果は。

答 令和元年度は50%だった接種率が、令和2年度は75%に向上した。

問 今年度はどうするのか。

答 コロナのワクチン接種もあり、医療従事者の負担軽減のため令和2年度と同様の全員無料での接種は行わない。



自宅の整理整頓や家族とのバーベキューです。

R.Sさん(35歳)

一言インタビュー
コロナ自粛期間中でのあなたの楽しみ方は？



◆図書館の利用促進

問 図書館には約7万冊の本があり、令和2年度は新たにDVDや図書を370万円分購入しているが、廃棄図書はどれくらいあるのか。

答 984冊廃棄している。

問 コロナの影響で休館が続き、困っている住民もいる。今後電子図書館の導入は。

答 今年から導入している岡垣町の利用状況などを調査・研究したい。



図書館の様子

決算討論

私の考えはこうつちや!



反対 討論

町の個人情報管理は原則を逸脱している

川上誠一議員

政府がコロナに乗じて一気にマインバーカードの普及を進めることは強権的なやり方である。

また、町では自衛官の新規募集のために18歳と22歳の名簿の電子データを自衛隊に一括提供している。福岡市や筑後市でも行われているが、個人情報審議会は「自衛隊に対し便宜を図る行為にほかならず、今後このような形で個人情報を提供することは妥当とは言えない」としている。

町の個人情報提供は、個人情報を慎重に取り扱い、個人利益を保護する立場から逸脱している。

賛成 討論

全世代のニーズに合わせた事業を展開

萩原洋子議員

小中学校のプールやグラウンド改修など、子どもたちが安全安心に学べる環境を整備し、夢リア・プラザは、天候に関わらず子どもたちが安心して遊べる新たなレジャースポットへ改修した。町内巡回バスの3路線化や市営バスの町内100円運行、プレミアム乗車券の販売などの公共交通利用促進事業に加え、高齢者運転免許証返納制度の導入などの影響もあり、町内の交通事故発生件数の大幅減少という数字として成果が見える。子どもから高齢者まで、ニーズに合った事業であり評価する。

過疎地域

持続的発展計画の策定

令和12年度まで引き続き過疎地域に指定されたため、目標人口の設定や移住定住の促進・人材育成・産業振興・教育振興などの持続的発展施策を展開するための前期5年間の計画を策定します。

賛成 討論

過疎の町から脱却を

妹川征男議員

平成14年度に過疎地域の指定を受け20年。さらに10年間延長し、過疎債に頼った借金財政の町とすることを町民や未来を引き継ぐ若屋の子どもたちは誇りに思うか。子どもが他町の友人から「芦屋は過疎の町、貧乏な町」と冷やかされたそうだ。人口減少に歯止めをかけるよう推進しても、過疎の町が続くようであれば転入希望者は少ない。郡内で過疎の自治体は芦屋町だけ。芦屋港活性化事業を取りやめ町民の暮らしに直結した施策を実施するべきだと思うが、過疎の町から脱却することには期待するため計画に賛成する。

飲みに行けないので仕方なく家で読書をしています。



K.Hさん(69歳)



K.Nさん(77歳)

自宅で映画をみることです。

書を国へ提出

2件を可決し、国や関係機関へ提出しました。

賛成多数で
可決

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

提出者：川上 誠一議員 賛成者：妹川 征男議員

女性差別撤廃条約の実効性を高めるために114カ国が批准している女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書を賛成多数で可決し、関係機関へ提出しました。

提出先

衆議院議長、参議院議長

要望内容

この議定書は、女性差別撤廃条約の実効性を高めるために1999年国連総会で採択され、2021年1月20日現在、締約国189カ国中114カ国が批准している。条約締約国の個人などが、条約で保障された権利の侵害を女性差別撤廃委員会に直接申し立てすることができ、通報者と当事国に「見解」「勧告」を通知する制度を定めており、国連の女性差別撤廃委員会などは、日本政府に対し批准を勧告している。

政府の第5次男女共同参画基本計画からも、政府はただちに取り組むべきで、この議定書を速やかに批准することを求める。

否決

現状と大きく乖離

コロナ禍を乗り越えるためにも女性の貧困やDV対策など国のジェンダー平等施策の抜本的強化を求める意見書

提出者：川上 誠一議員 賛成者：妹川 征男議員

国へ雇用や社会保障制度、税金の使い方を見直し、以下のジェンダー施策を強化することを求める意見書は賛成少数で否決されました。

要望内容

1. 女性労働者が多く占めるエッセンシャルワーカーの賃金と労働条件を保障すること。
2. 最低賃金を全国一律時給1500円以上に引き上げ、そのための中小企業支援を行うこと。
3. 雇用を守る補償制度や休業助成金など女性支援制度を延長・拡充すること。
4. 性暴力被害者を専門体制と財政支援で抜本拡充し、性的同意を明記する刑法改正を行うこと。
5. ハラスメント禁止を明記した法整備を行い、ILOハラスメント条約を批准すること。

反対 討論

現在の最低賃金と乖離が大きすぎる

本田浩議員

最低賃金が現行の全国平均時給902円から930円となり、福岡県でも令和3年10月1日から時給870円となる。意見書では、「全国一律1500円以上に引き上げること」を求めているが、中小企業では支出に限界があり、東京と地方では均一とならない。

また、1500円と言う金額は現状とは大きく乖離しているため反対する。

満場一致で
可決

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

提出者：長島 毅議員 賛成者：松岡 泉議員

コロナ禍で地方自治体は、財政需要の増加が見込まれる社会保障などへの対応に迫られており、地方税財源の充実が不可欠のため、国に令和4年度地方財政対策と地方税制改正に向けて、地方税財源の充実を求める意見書を満場一致で可決し、関係機関へ提出しました。

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣

要望内容

1. 急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大しており、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
2. 固定資産税は、制度の根幹を揺るがす見直しは行わず、特例措置は本来国庫補助金等により対応し、今回限りの措置とし期限の到来をもって確実に終了すること。
3. 税制改正により土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置は令和3年度限りとすること。
4. 税制改正により講じられた環境性能割の臨時的軽減の延長は断じて行わないこと。
5. 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

否決
やむを得ない改正

75歳以上の医療費窓口負担に関する意見書

提出者：川上 誠一議員 賛成者：妹川 征男議員

75歳以上の人で、課税所得28万円以上かつ年収200万円以上（複数世帯の場合は年収320万円以上）の人に限り（加入者の約20%）医療費窓口負担額1割を2割に引き上げる法律の施行を中止することを求める意見書は賛成少数で否決されました。

反対 討論

超高齢化が進む中ではやむを得ない改正である 内海猛年議員

令和4年以降に団塊世代が後期高齢者となり、医療費が増大する中で以下の理由により反対する。①働き盛りの現役世代の保険料が増加する。②施行後3年間は自己負担限度が3000円と緩和措置が講じられる。③後期高齢者全員の保険料に影響する。④高額医療限度額は従前と同様の適用がある。⑤この法律は本年6月に可決し、来年10月以降に施行される。今回の改正は今後、制度安定的構築のためにはやむを得ない。

アフターコロナを見据えた施策

令和3年度一般会計予算

歳入歳出それぞれ **9200万円** の増額補正

補正のあった歳出の主な内容	補正額
商工会補助金 (コロナ禍の経済対策として発行される地域振興券プレミアム分35%に対する補助金)	1870万円
魚見公園整備基本計画策定業務委託 (魚見公園の景観を維持するための園路整備や植栽などを検討する基本計画)	—
町有地(大君地区)法面崩落対策工事实施設計委託 (崩落の恐れがある危険箇所の法面対策工事实施設計)	—
芦屋釜の里収蔵展示施設改修工事設計業務委託 (重要文化財の芦屋釜を収蔵する展示室などの改修工事設計)	—

※委託料は金額の公表を行っていません。

◆プレミアム付商品券に補助

問 当初の発売額7000万円を1億円に増額した理由は。

答 コロナ禍での経済振興を図るためである。

問 購入金額の制限はあるのか。また、他町は売れ残っていると聞くと販売状況は。

答 今回の購入限度額は、まだ正確な確認が取れていない。昨年は全て完売している。

問 若者の購入が少ないようであるが、ペイペイ(スマホ決済)とリンクしての発売はできないのか。

答 直ちに取り組むことはできないが、今後商工会と検討していく。

◆魚見公園の整備計画を策定

問 整備後の魚見公園維持管理はどのように考えているのか。

答 現在は清掃と除草業務が中心であるが、整備後は委託内容の見直しも検討する。

問 公園内には多くのやぶ椿が生息しているが、これを観光資源にできないか。

答 計画には植栽を含んでいるので、現状も踏まえて検討する。



魚見公園第一展望台

家飲み・映画鑑賞・散歩です。呑んでダイエット!

H.Nさん(60歳)

「旨いッ♪」
コロナ自粛期間中でのあなたの楽しみ方は?

令和3年11月25日 第211号

議会だよりあしや

8

9月定例会で意見がわかれた議案の賛否一覧

議案の賛否を掲載しています。

※議長には、賛否の意思表示をする表決権がありません。

ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

○：賛成、×：反対を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	内海	中西	長島	萩原	信国	本田	松岡	妹川	小田	川上	横尾	辻本			
芦屋町個人情報保護条例及び芦屋町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	—	9	2	可決
令和2年度芦屋町一般会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	—	9	2	認定
令和2年度芦屋町国民健康保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	—	9	2	認定
令和2年度芦屋町後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	—	9	2	認定
令和2年度芦屋町モーターボート競走事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	10	1	認定
女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	10	1	可決
コロナ禍を乗り越えるためにも女性の貧困やDV対策など国のジェンダー平等施策の抜本的強化を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	—	2	9	否決
75歳以上の医療費窓口負担に関する意見書	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	—	2	9	否決

満場一致で可決、同意された議案

議案名	
芦屋町過疎地域持続的発展計画の策定	令和2年度芦屋町国民宿舎特別会計決算の認定
令和2年度芦屋町モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分	令和2年度芦屋町給食センター特別会計決算の認定
令和3年度芦屋町一般会計補正予算（第2号）	令和2年度芦屋町公共下水道事業会計決算の認定
令和3年度芦屋町給食センター特別会計補正予算（第1号）	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
令和2年度芦屋町地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計決算の認定	

ジョギングなどをして身体を鍛えています。



K.Hさん(49歳)



K.Kさん(78歳)

自分の健康管理の見直しができています。



一般質問 町政を問う



一般質問会議録

9月3日に5人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などの所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねることです。

議会だよりは要約しています。詳しくはホームページの会議録や録画中継でご確認ください。

ページ	質問議員	質問事項
11	松岡 泉	○防災・減災 ○遺族の手続き一括対応
12	川上 誠一	○特別障害者手当の周知 ○重要土地等調査規制法
13	萩原 洋子	○洞山・柏原漁港周辺の活性化 ○認知症の早期発見・早期対応
14	長島 毅	○町外への芦屋町の魅力発信
—	※ 妹川 征男	□埋められた農業用水路

○：記事掲載あり □：記事掲載なし

※妹川議員の一般質問については全員協議会で審議中のため、議会だよりへの掲載が保留となりました。





まつおか いずみ
松岡 泉

防災・減災

防災・減災対策の前進を

総務課長

マイタイムラインを普及

問 町は国や県の防災・減災の強靱化計画に準じ、3月に計画を策定した。

しかし、町の防災・減災対策は前進しているとは言えない。風水害対策の課題は何か。

答 遠賀川や西川の重要水防箇所からの浸水、汐入川の越水、道路冠水などの状況の把握と、台風などで停電が長期化となった場合の対応が課題である。

問 危険地域の詳細情報を早期に収集するため、水位計の増設、監視カメラの設置、監視用のドローンの活用を検討すべきではないか。

答 突然の大雨などの対応で重要箇所を把握できるようにするため、カメラの設置や有効な方法などを関係課と協議、検討したい。また、道路や水路の冠水しやすい場所も監視できる仕組みを検討したい。

問 災害基本法が改正され、避難弱者の個別避難計画の作

冠水時



通常時



大君地区の通常時の様子と冠水時の様子の比較

問 ハザードマップが今年度改定される予定である。マイタイムライン普及促進のため、ハザードマップに作成要領を記載できないか。

答 ハザードマップにマイタイムラインの内容を一緒に掲載することで、その中で作成でき、一目で分かりやすく、一緒に保管できる利点がある。今後、検討していきたい。

遺族の手続き 一括対応

問 遺族の役場での手続きは複数の窓口を回らなければならない。精神的負担を強いている。遺族に寄り添った一括窓口対応を検討すべきではないか。

答 庁舎一階にある住民課、福祉課、健康・こども課、税務課での手続きは一括で対応している。来庁者の9割がこれに該当し、一定以上の対応はできている。ただし、住民に分かりやすく、優しい、そして迷わない窓口への改善は常に考えていく必要がある。

答 成の努力義務化などが規定された。マイタイムラインの作成も普及啓発を図るべきではないか。

マイタイムラインの作成資料は、町の避難訓練で配布したり、ホームページにも記載して普及促進を図っている。

※注1：マイタイムライン
住民個々の防災行動計画のこと

かわかみ せいいち
川上 誠

特別障害者手当の周知

制度内容の周知徹底は

福祉課長

広報や窓口などで周知

問

特別障害者手当は障害者手帳が無くても著しく重い障害があり、日常生活で特別な介護が必要な人に月2万7350円支給される国の制度である。

介護保険の要介護4、要介護5の高齢者も手当を受け取れる可能性があるが、内容を知らされていない。町として周知徹底を行う必要があると思うが、町の考えは。

答

認知症が重度であったり要介護4や要介護5であるなど、重度障害と同程度と認定される場合には、障害者手帳を持っていない場合でも特別障害者手当を受給できる可能性がある。

なお、審査は医師の診断書に基づき県が行っている。指摘のとおり、高齢者に対して積極的な周知が行われていなかった。

今後、ホームページの内容を修正し、広報や高齢者支援係の窓口でも周知を行う。また、地域の居宅介護支援事業所のケアマネジャーにも制度の周知を行い、対象となりそうな人への案内を依頼したい。

問

芦屋町の特別障害者手当の受給者は何人いるのか。また、手当受給の可能性がある要介護4、要介護5の人は何人いるのか。

答

町内の特別障害者手当受給者は8人おり、全て障がい者である。7月末現在で要介護4の人が100人、要介護5の人が58人で合計158人となっている。このうち制度の対象となる可能性がある在宅で過ごされている人は50人程度存在する。



高齢者支援係の窓口で相談している住民の様子

重要土地等

調査規制法

問

国会で「重要土地等調査規制法」が成立し、これにより基地周辺約1キロメートルが注視区域や特別注視区域に指定された。この法は戦前の要塞地帯法の現代版である。土地や建物の所有、利用に関する調査、政府による利用制限や中止の勧告と命令ができる。芦屋基地の指定区域は。

答

基地を通じて防衛省に問い合わせをしたが、「土地利用状況審査会の意見を聞き慎重に検討する」とのことであった。

問

防衛省はすでに全国650の基地周辺8万カ所の土地所有者の確認を行っている。芦屋町でも300件の土地所有者の情報収集を行っているが、どのような調査を行ったのか。

答

九州防衛局に確認したところ「法務局より不動産登記簿と公図を取りつけ土地所有者の確認をした」との回答だった。



萩原洋子



録画中継

洞山・柏原漁港周辺の活性化

洞山の岩場に橋を

町長

安心して遊べる公園地に

問 洞山周辺はゴミが目立つので対策が必要では。

答 漂着ゴミは、今後も補助金などを活用し回収していく。来訪者などのゴミは、関係者と清掃区域や内容を見直し、マナーアップ向上の対策も協議する。

問 柏原漁協が管理する海の駅は休業し、洞山周辺には買物をする場所もない。今後、地域経済の活性化をどう考えるのか。

答 その周辺は山鹿の観光エリアとして観光や活性化策を考えていく必要がある。今後、観光基本構想の中でも課題として検討する。

問 洞山にある看板は分かりづらく、洞窟を見るにも段差があり安全に降りられない。観光客の利便性の向上や安全対策をどう考えるのか。

答 利便性向上のため内容を含め看板設置を検討する。また、来年度予定している胸壁工事に併せて安全対策も検討する。

問 洞山は崩落の危険もあり、岩場も滑りやすくなっている。岩場に橋を作り、安全に観光できるようにする考えは。

答 岩場は危ないので、木の道などを作り安全に降りられるようにすれば子どもも磯遊びができるので何とか実施計画に上げられる。周辺の飲食店整備は苦勞しており、さまざまな意見を取り入れ安心して遊べる公園地にしたい。



萩原議員がイメージする橋の案



認知症の早期発見・早期対応

問 認知症を早期発見するため取り組みは。

答 家族や民生委員などから相談・情報提供のあった高齢者を保健師が訪問し、受診を勧めている。広報掲載や認知症あんしんガイドの配布、認知症サポーター養成講座で正しい知識の啓発や早期治療開始の重要性を伝えている。

問 今後どう推進していくのか。

答 広報で特集記事の掲載や、ガイドの折り込み、各種健康教室などで説明を加えてガイドの配布を行い、セルフチェックができるきっかけづくりを行う。

問 近年、認知症の早期発見・早期対応を目的に「物忘れ検診」を導入する自治体も増えている。今後町での導入の考えは。

答 現在の取り組みや他自治体の事例を検証し、必要性を検討したい。

ながしま
長島 毅 つよし

録画中継

町外への芦屋町の魅力発信

これからの魅力発信は

町長

SNSでの魅力発信を

問 海岸線の魅力を活かした芦屋港活性化の機運醸成事業と人材発掘はどうなっているのか。

答 多くの人に期待感を持ってもらうことが芦屋港周辺エリアのにぎわい創出や活性化に繋がるため、テストマーケティングや情報発信を行う。これらを担う人材発掘と育成のため、意欲やスキルがある人にワークショップや講習などを行う。人材が不足する分野には、外部から効果的に登用していく。

問 町をPRし、交流人口を増やすためには観光協会との連携が必要不可欠と考えるが、取り組みや目標は。

答 観光協会は観光サイトの運営やSNS配信、回遊マップ作成などで観光情報を発信している。町はホームページや広域観光PRなどへの対応、マスメディアへイベントなどの情報提供・取材対応を行い、大きなイベントでは特設サイトなどで情報を発信している。SNSを有効活用するた

め観光協会と課題などを検討し、「フォロワー数の増加」を目標に投稿数を増やし、「魅力の伝え方」や「誰に何を伝えるのか」を考え、観光振興に繋がる発信を行う。

問 観光案内看板の定期的な更新や、町歩きやドライブへ誘導するような看板にする考えはないのか。

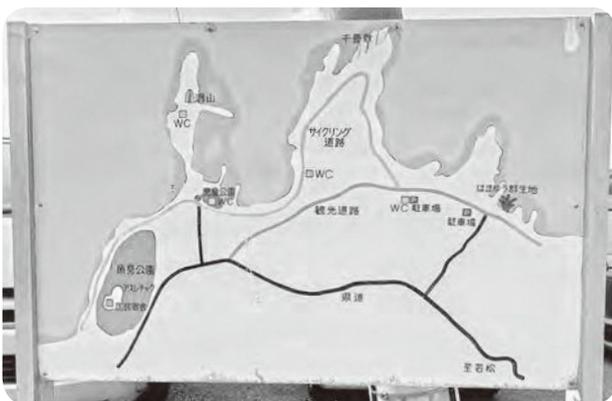
答 内容や見せ方などの工夫でインパクトを与え、「あそこに行ってみよう」と思ってもらうことや興味を持ってもらうことは、観光PRの視点からも重要で、町内周遊や再来町を促す効果もある。今後、周遊などに繋がるよう魅力的で効果的な情報発信となるよう努め、新設や改修も、各施設整備なども考慮し検討する。

問 全天候型のモーヴィとの連携は、秋や冬でも周遊PRなど有効性がある。積極的に観光戦略に活かすべきでは。

答 来場者へ観光PRなどを積極的に言い、魅力を伝える、

町内周遊に繋げていくことは必要不可欠と考える。PR効果を高めていくため、観光協会とも連携し検討しているが、今後はポータル事業局とも協議したい。

問 今後の芦屋町の魅力発信は。一つ一つ実現に向けて努力する必要がある。SNSなどいろいろ方法があるが、職員数にも限りがあり、町民もスマホなどで魅力を発信してほしい。職員一同も精いっぱい頑張る。



町内に設置してある観光案内看板

過去の議会で質問したことがその後どうなっているのか追跡しました。



レポート 追跡

学校ICT化はどこまで進んだ？



平成30年
3月定例会での質問

問 ICT化を進めることにより、教育にどのような変化が生まれるのか。

答 電子黒板を導入し、授業をユニバーサルデザイン化、視覚化することで、わかりやすい授業となり、教育効果を向上させることができる。また、②データを活用することで授業の準備時間が短縮され、教師が子どもと向き合う時間が多く確保できる。

その後どうなったの？

① ユニバーサルデザイン化・視覚化でわかりやすい授業に

例えば図形の授業ではICT機器を使うことによって、児童生徒が平面図を移動させたり、転回させたりして立体的に捉えることができ、理解力が深まっている。



図形をスライドしている様子

② データを活用し授業の準備時間短縮、子どもと向き合う時間を確保

教師用デジタル教科書を導入し、教材などの準備時間が短縮され、教師の活動時間が増えたため、子どもと向き合う時間を多く確保できている。

実際の教育現場は・・・

他町も注目！芦屋町のICT教育（教育委員会指定・委嘱研究発表会）

10月8日（金）に芦屋東小学校で行われた教育委員会指定・委嘱研究発表会を見学し、教育長にも話を聞きました。

遠賀中間地区の教育委員会などから69人が参加しており、ICT教育への期待の大きさを感じました。



三柵賢二教育長

問 勉強が遅れている児童への対応は。

答 習熟度別学習にもICT機器を効果的に活用し、その児童にあった指導を行っている。

問 ICTの苦手な教員もいるのでは。

答 新任や転任してきた教員などには、年度当初や夏休みの間に研修を実施し、一定のラインまで習得を進めている。

問 他町の教育委員会との違いはあるのか。

答 県内で教師用デジタル教科書で全学年・全教科に導入しているのは芦屋町だけだった（令和2年11月の県教育委員会の調査参照）。ICT支援員は通常、中学校区に1人だが、芦屋町は各学校に常勤1人を配置し、教員へのサポートも充実させている。

また、小学校の英語教育においても、学力向上のため専門性の高い指導ができる専科教員を1人配置し、各小学校で巡回指導を行っている。これは教員の働き方改革にもつながっている。



電子黒板やタブレットを活用した授業風景

インタビュー



9月28日にコロナ禍のため無観客で行われた芦屋中学校体育大会。グラウンドは昨年度に改修し、水はけ機能などが向上しました。生徒や校長先生に体育大会の感想やグラウンドの使い勝手を聞いたっちゃ。

～最高の思い出（芦屋中学校体育大会）～

頑張っていたので、芦中全体が盛り上がっていました。クラスでもブロック優勝を目指し団結し、みんな喜びを分かち合い、体育大会を大成功に導くことができて、最高の思い出となりました。体育大会実施に向けてご指導と応援をしてくださった先生や保護者の皆様、本当にありがとうございました。

3年生 小田 響生さん
(赤ブロック・副ブロック長)



3年生 小田 響生さん

Q 中学校最後の体育大会はどうでしたか？

A コロナ禍で体育大会が本当に実施されるのか、ずっと心配でした。本格的に練習が始まってからも練習期間が短いため、ブロックや応援団をまとめることができるのが不安になりましたが、みんなが真剣に取り組んでくれ、とてもうれしく思いました。本番では、一人一人が競技はもちろん、応援も全力で頑張っていたので、芦中全体が盛り上がっていました。クラスでもブロック優勝を目指し団結し、みんな喜びを分かち合い、体育大会を大成功に導くことができて、最高の思い出となりました。体育大会実施に向けてご指導と応援をしてくださった先生や保護者の皆様、本当にありがとうございました。

3年生 小田 響生さん
(赤ブロック・副ブロック長)

Q 改修後のグラウンドはどうですか？

A 改修工事の終わりをずっと待ち遠しく思っていました。新しくなったグラウンドは雑草も少なく、とてもきれいで運動しやすくなりました。また、スタンドも改修され、とても快適となったことで、体育大会も全力で楽しむことができました。今後も大切に使用していきます。

芦屋中学校長 山下 高志さん

Q コロナ禍の体育大会はどうでしたか？

A 多くの行事が中止になる中、生徒たちの「体育大会をやりたい」という気持ちを最大限に生かしたいと、できる限りのことをしました。創意工夫し、無事に体育大会が開催でき本当に良かったです。

Q グラウンドを改修し、その後の使い勝手はどうですか？

A 以前は水はけが悪く雨が降るとなかなか使えなかったのですが、改修後は半日もすれば使えるので部活なども助かっています。



校長 山下 高志さん

議会を**傍聴**してみませんか？

次回の定例会は **12月9日**開会予定

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。また、本会議は役場1階ロビーでライブ中継をしています。

※日程は変更になる場合があります。傍聴を希望する場合は議会事務局にお問い合わせください。(TEL 223-3579)

※新型コロナウイルス感染症の今後の状況によっては、傍聴をお断りする可能性がありますので、ご了承ください。

議会録画中継配信中

詳しくは、芦屋町ホームページをご覧ください。なお、配信は本会議終了から7日後（土日祝日のぞく）になります。



録画中継で見た表決の様子



録画中継ページ

議員控室

新型コロナウイルス感染症による被害は、芦屋町の中でも「生活・仕事・学校」など様々なところで影響を受けています。町民の皆さんも大変不安な日々を過ごされていると思います。

芦屋町では5月8日からコロナワクチン集団接種が開始され、健康・こども課が主体となり、芦屋中央病院をはじめ各医療従事者、役場職員、一般スタッフなど多大なるご尽力で75%以上の町民が接種を終えることができました。接種後も今までどおりの感染対策を徹底し、「うつらない・うつさない」を心掛けていく事が大切です。一日も早く安全・安心な生活をおくれる日が訪れるよう切に願っています。

中西 智昭

【発行責任者】

議長 辻本 一夫

【議会広報常任委員会】

委員長 萩原 洋子

副委員長 信国 浩

委員 内海 猛年

委員 本田 浩

委員 長島 智

委員 中西 智昭